



2026年3月期 第3四半期

# 決算説明会資料

2026年2月6日

 **大成建設**  
For a Lively World

表紙写真:エディオンピースウイング広島(広島市)  
© 大成JV 【第66回 BCS賞(日建連表彰)】 © 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

# 1. サマリー

## 2026年3月期 第3四半期決算

- 売上高は減少したものの、各段階利益は過去最高益。
- 純利益の通期目標に対する進捗率は**74.9%**と順調。
- 単体売上総利益率は2Qレベルを維持し、**土木21.9%・建築10.9%**。

## 政策保有株式縮減

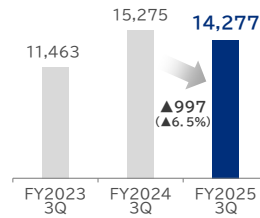
- 2025年4月～12月で**491億円**を売却するも、株価上昇影響により、連結純資産比率は**32.8%**

## 東洋建設の影響

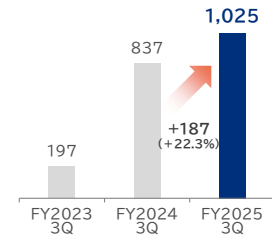
- 第3四半期期首より連結するも、営業利益以下への影響は限定的。
- セグメントは**土木・建築**およびその他
- のれんは7年均等償却。3Q償却額は**21億円**。



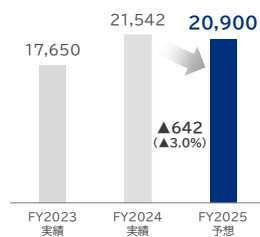
連結売上高(3Q) (億円)



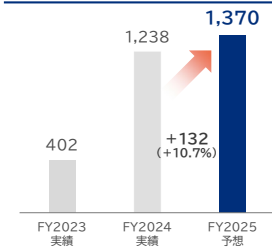
連結四半期純利益(3Q) (億円)



連結売上高(通期) (億円)



連結当期純利益(通期) (億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

- 本日の決算説明のサマリーは記載の通り。

# 2026年3月期 第3四半期実績

- 2.主要数値の実績と予想
- 3-1.受注高
- 3-2.売上高
- 3-3.売上総利益
- 3-4.単体・完成工事利益率
- 3-5.販売費および一般管理費
- 3-6.営業利益
- 3-7.経常利益
- 3-8.四半期純利益
- 3-9.(参考)当期純利益
- 4.グループ会社業績
- 5.バランスシート

© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

- 基本的に連結の数値を用いて説明。
- 対前期実績との変動について説明。

## 2. 主要数値の実績と予想

- 第3四半期実績は、土木事業・建築事業における売上総利益の増益額が、国内建築事業の減収、販管費の増加、営業外損益および特別損益の悪化といった減益額を上回り、各段階利益はいずれも過去最高益となった。

(単位:億円)	FY2024 3Q 実績	FY2025 3Q 実績	対前期	3Q進捗率 (対通期予想)	FY2025 通期 予想
受注高	16,442	17,938	+1,496	81.9%	21,900
売上高	15,275	14,277	▲997	68.3%	20,900
売上総利益	1,567 (10.3%)	2,179 (15.3%)	+611 (+5.0pt)	74.1%	2,940 (14.1%)
営業利益	799 (5.2%)	1,223 (8.6%)	423 (+3.4pt)	82.7%	1,480 (7.1%)
経常利益	925 (6.1%)	1,304 (9.1%)	+379 (+3.0pt)	85.9%	1,520 (7.3%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	837 (5.5%)	1,025 (7.2%)	+187 (+1.7pt)	74.9%	1,370 (6.6%)
1株当たり 四半期純利益(円)	457.17	615.38	158.21	74.5%	826.44
ROE	—	—	—	—	15.8%

### 【第3四半期の概要について】

- 受注高は、建築事業において、国内大型工事を受注したことから増加。
- 売上高は、建築事業において、首都圏大型工事を中心に、工程が初期段階にあることから減収。
- 売上総利益は、土木事業および建築事業における利益率の改善等により増益。
- 営業利益以下においては、販管費の増加、営業外収益の減少、特別損益の悪化といった減益要因がありましたが、それらを上回る売上総利益の増益により、各段階利益は、第3四半期として過去最高益となった。
- 受注高を含む各項目には、第3四半期から東洋建設の連結影響が反映されている。

### 3-1. 受注高

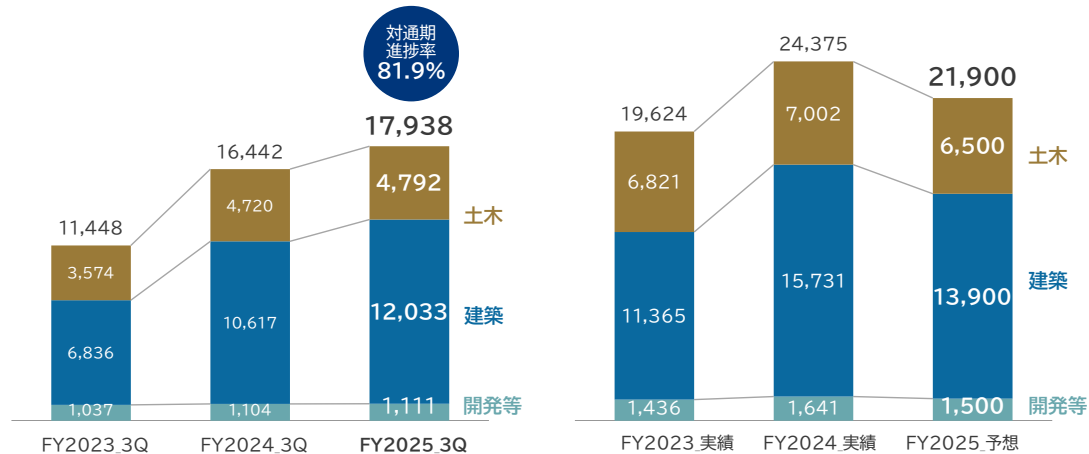
第3四半期実績は、単体国内建築における大型工事の受注、および東洋建設の連結子会社化により対前期で**9.1%**増加

第3四半期実績

(億円)

通期予想

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

4

#### 【受注高について】

- 第3四半期実績は、対前期+1,496億円増加の1兆7,938億円。

#### 【土木】

- ✓ 単体は、前期第1四半期において、国内大型工事の受注があった反動から▲191億円減少。
- ✓ 子会社等は、東洋建設の連結影響、および大成ロテックの増加により、連結全体では+71億円の増加。

#### 【建築】

- ✓ 単体は、第1四半期において、国内大型工事の受注があったことから+1,312億円増加。
- ✓ 子会社等は、東洋建設の連結影響、および大成設備の増加により、連結全体では1,416億円増加。

#### 【開発等】

- ✓ 概ね前期並み。

- 通期予想に対する進捗率は81.9%。

## (参考)主な受注案件

土 建	受注期	区分	工事名称	施設用途	発注者	産業分類
土 木	3Q	〔官公庁〕	石神井川上流地下調節池工事	治山・治水	東京都	都道府県
	1Q	〔官公庁〕	甲山浄水場更新事業 新浄水場建設事業	上下水道	姫路市	市区町村
	3Q	〔民間〕	なにわ筋線JR堀江シールドT他土木工事	鉄道	関西高速鉄道(株)	運輸業
	1Q	〔民間〕	電炉2工区EAF電気室基礎建設工事 他	土地造成 (工場基礎)	JFEスチール(株)	鉄鋼業
建 築	3Q	〔官公庁〕	(国)178号浜坂道路Ⅱ期 浜坂第1・第2トンネル(仮称)建設工事	道路	兵庫県	都道府県
	1Q	〔民間〕	(仮称)品川駅西口地区A地区新築計画	事務所	京浜急行電鉄(株)	運輸業
	2Q	〔民間〕	大通西4南地区第一種市街地再開発事業の内、施設建築物等新築工事	店舗	大通西4南地区市街地再開発組合	サービス業
	3Q	〔民間〕	南渡田北地区北側開発計画研究棟B新築工事	教育・研究・文化	ヒューリック(株)	不動産業
	3Q	〔民間〕	東海大学伊勢原キャンパス1号館耐震化推進事業(仮称)新1号館他新築工事	医療施設	学校法人東海大学	サービス業
	2Q	〔民間〕	白金一丁目西部中地区第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事	住宅	白金一丁目西部中地区市街地再開発組合	サービス業

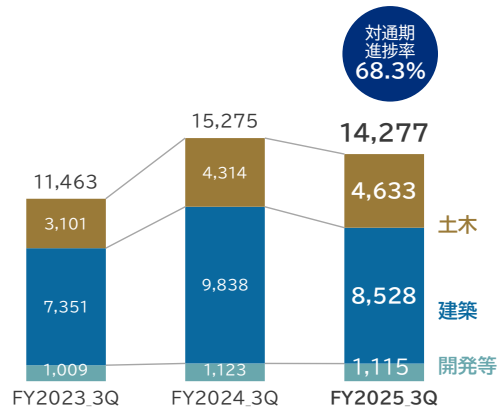
- 単体土木事業、建築事業の主な受注工事は記載のとおり。

## 3-2. 売上高

第3四半期実績は、単体国内建築において、首都圏大型工事を中心に工程が初期段階にあるため、工事進捗による売上貢献が低位となり、▲6.5%の減収。

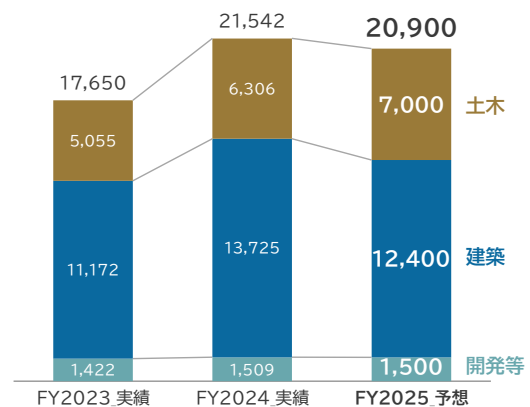
第3四半期実績

(億円)



通期予想

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

6

### 【売上高について】

- 第3四半期実績は、対前期▲997億円減収の1兆4,277億円。

#### 【土木】

- ✓ 単体は、手持工事の増加、および大型工事の工程進捗により、+63億円の増収。
- ✓ 子会社等は、東洋建設の連結影響、およびピーエス・コンストラクションの増収により、+256億円の増収。
- ✓ 連結全体では+319億円の増収。

#### 【建築】

- ✓ 単体は、首都圏の大型工事を中心に、工程の初期段階にある工事が多いため、▲1,602億円の減収。
- ✓ 子会社等は、東洋建設の連結影響、およびピーエス・コンストラクション、大成建設ハウジングの増収により、+292億円の増収。
- ✓ 連結全体では▲1,309億円の減収。

#### 【開発等】

- ✓ 概ね前期並み。

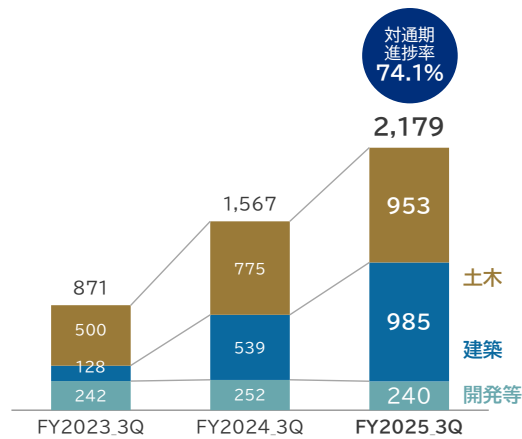
- 通期予想に対する進捗率は68.3%。

### 3-3. 売上総利益

第3四半期実績は、土木事業・建築事業において追加工事の獲得・原価低減が進んだことに加え、建築事業における受注時採算の改善も寄与し、利益率が好転したことから対前期で**39.0%**増益

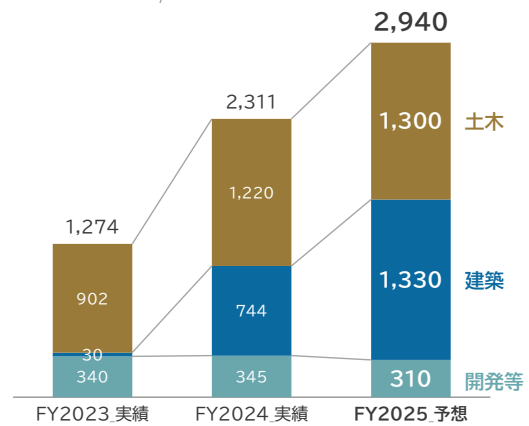
第3四半期実績

(億円)



通期予想

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

7

#### 【売上総利益について】

- 第3四半期は、対前期+611億円増益の2,179億円。

#### 【土木】

- ✓ 単体は、増収影響、および追加工事の獲得・原価低減により、対前期で+104億円の増益。
- ✓ 子会社等は、東洋建設の連結影響、およびピーエス・コンストラクションの追加工事獲得により+72億円の増益。
- ✓ 連結全体では+177億円の増益。

#### 【建築】

- ✓ 単体は、減収となったものの、利益率の好転により対前期+382億円の増益。
- ✓ 子会社等は東洋建設の連結影響、および大成設備、大成建設ハウジングでの増収と収支好転により+63億円の増益。
- ✓ 連結全体では+446億円の増益。

#### 【開発等】

- ✓ 概ね前期並み。

- 通期予想に対する進捗率は74.1%。

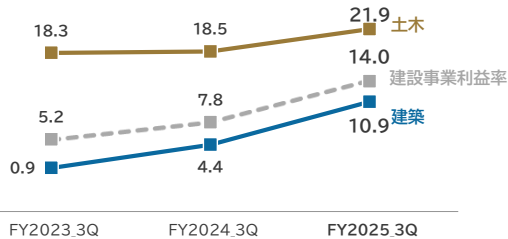


### 3-4. 単体・完成工事利益率

第3四半期実績は、**土木21.9%**(対前期+3.4pt)・**建築10.9%**(対前期+6.5pt)と対前期で好転。

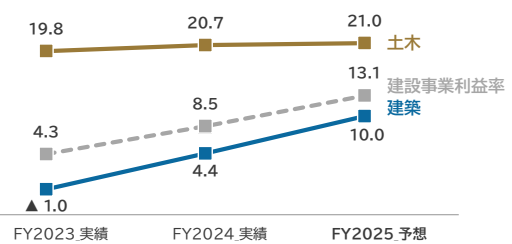
第3四半期実績

(%)



通期予想

(%)



工事損失引当金 増減内訳

(億円)

	2025年 3月末	期中増減額(4月-12月)				2025年 12月末
		繰入	取崩			
土木	99	▲2	11	▲13		97
建築	924	▲192	28	▲220		732
合計	1,023	▲194	39	▲233		829

売上総利益の増減要因(対前期)

(億円)

	売上 総利益 (3Q累計)	対前期 増減	増減要因	
			売上高 の増減影響	利益率 の変動影響
土木	604	104	11	93
建築	759	382	▲27	409
合計	1,364	487	▲16	503

© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

8

#### 【単体の完成工事利益率について】

- 第3四半期は、建設事業全体では、対前期+6.2ポイント上昇の14.0%。

#### 【土木】

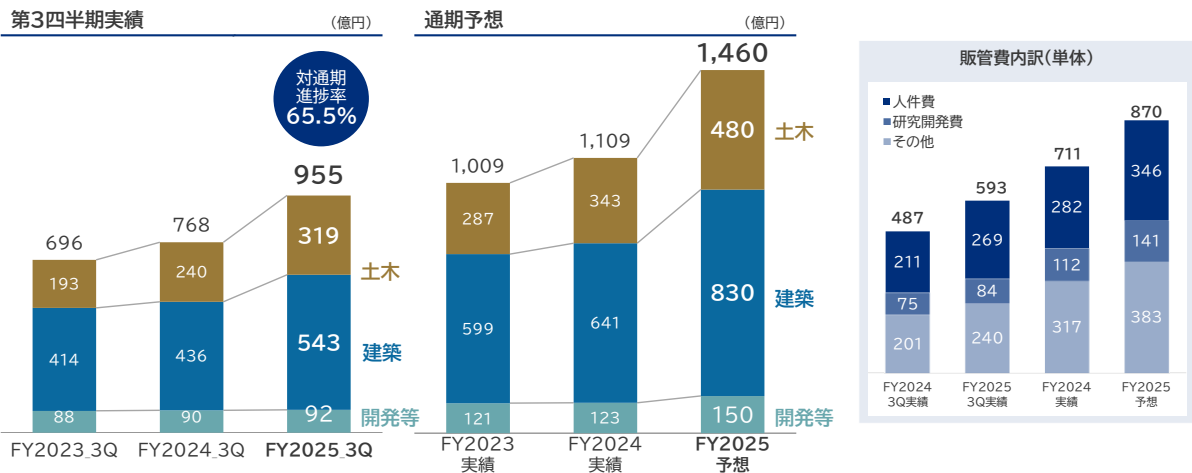
- ✓ 当期に竣工を迎える大型工事を中心に、追加工事の獲得や原価低減が進んだことにより、対前期で+3.4ポイント上昇の21.9%となった。

#### 【建築】

- ✓ 受注時採算の改善に加え、当期に竣工を迎える大型工事で物価スライドを含む追加工事の獲得や原価低減が進んだことにより、対前期+6.5ポイント上昇の10.9%となった。

### 3-5. 販売費および一般管理費

第3四半期実績は単体における人的資本投資の増加に加え、東洋建設の連結子会社化により対前期で**24.4%**増加



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

9

#### 【販管費について】

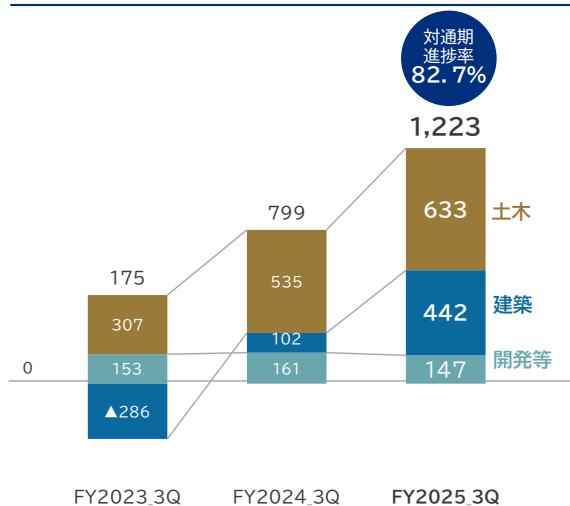
- 第3四半期は、単体は、人事施策の実施に伴う人件費の増加、および受注関連費用の増加により、対前期で+106億円の支出増。
- 子会社等は、東洋建設の連結影響、およびピーエス・コンストラクションの増加により、+80億円の支出増。
- 子会社等には、東洋建設におけるのれん償却費21億円を含む。
- 連結全体では+187億円の支出増。
- 通期予想に対する進捗率は65.5%。

## 3-6. 営業利益

第3四半期実績は、販管費の増加を売上総利益の増益が上回り、営業利益は対前期で**53.0%**の増益

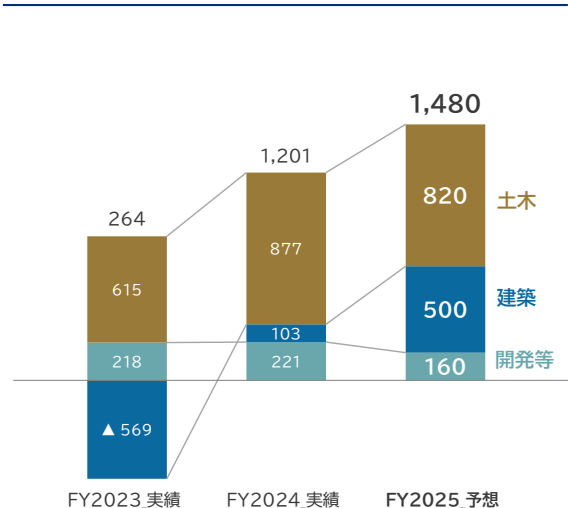
第3四半期実績

(億円)



通期予想

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

10

### 【営業利益について】

- 第3四半期は、販管費は支出増となったものの、売上総利益の増益が上回り、対前期+423億円増益の1,223億円となった。
- 通期予想に対する進捗率は82.7%。

## 3-7. 経常利益

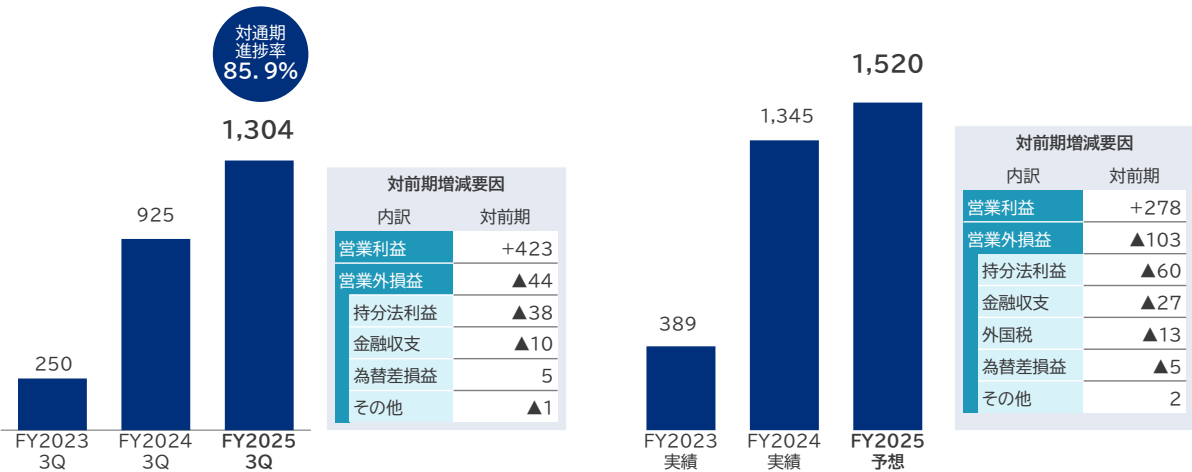
第3四半期実績は、営業利益の増加に伴い、対前期で**41.0%**の増益。

第3四半期実績

(億円)

通期予想

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

11

### 【経常利益について】

- 第3四半期は、営業外損益は、前期に平和不動産のM&Aに伴う負ののれんの一括償却を計上した反動により持分法利益が減少し▲44億円悪化となったが、営業利益の増益が上回り、経常利益では、対前期+379億円増益の1,304億円となった。
- 通期予想に対する進捗率は85.9%。

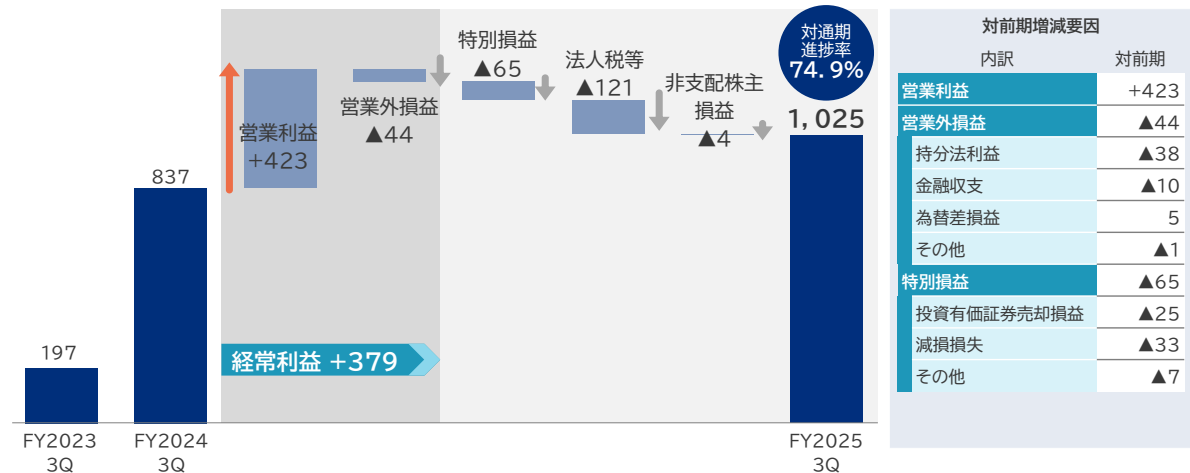
### 3-8. 親会社株主に帰属する四半期純利益【第3四半期】

第3四半期実績は、経常利益の増加に伴い、対前期**22.4%**の増益。

- 単体土木事業・建築事業の採算性改善による営業利益の好転が貢献

第3四半期実績(対前期)

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

12

#### 【親会社株主に帰属する四半期純利益について】

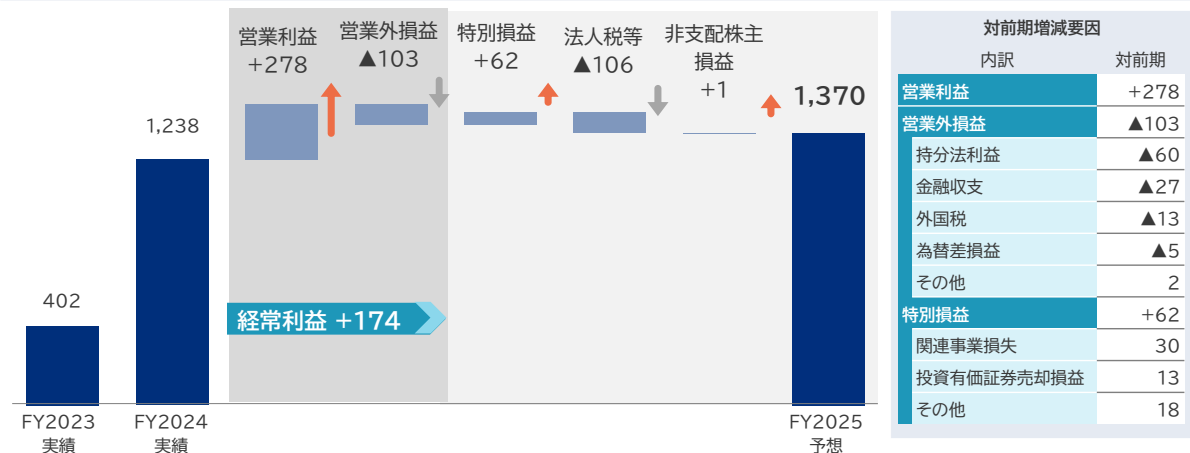
- 第3四半期は、特別損益が悪化したものの、経常利益の増益により、対前期+188億円増益の1,025億円となった。
- 特別損益の▲65億円の悪化は、当社、および子会社における減損損失の計上、および政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益の減少によるもの。
- 通期予想に対する進捗率は、74.9%。

### 3-9. (参考) 親会社株主に帰属する当期純利益【通期予想】

- 単体国内建築の利益率改善を主因に、営業利益は対前期で+278億円の増益。当期純利益では+132億円の増益予想。
- 特別損益では、政策保有株式の縮減の進捗により、投資有価証券売却益の+13億円の増加を見込む。
- 東洋建設の連結影響は通期予想に織り込み済み。

通期予想(対前期)

(億円)



© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

13

#### 【通期予想について】

- 11月に公表した2025年度予想からの変更はなし。
- 東洋建設の連結影響は通期予想に織り込み済み。
- 前期実績と当期予想の増減要因は、営業利益は、単体国内建築の利益率改善を主因に+278億円の増益。
- 営業外損益は、前期に、平和不動産のM&Aに伴う負ののれん一括償却を計上した反動から▲103億円となった。
- 特別利益は、政策保有株式の縮減の進捗による投資有価証券売却益の増加を織込み+62億円となった。
- 当期純利益では+132億円の増益予想。

## 4. グループ会社業績(連単差)

セグメント別内訳

(億円)

	受注				売上				売上総利益			
	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想
当社	13,452	1,142	88.5%	15,200	9,983	▲1,548	69.8%	14,300	1,479	508	75.5%	1,960
土木系子会社	2,070	263	69.0%	3,000	1,868	256	62.3%	3,000	348	72	75.7%	460
建築系子会社	1,540	103	61.6%	2,500	1,546	292	64.4%	2,400	226	63	68.5%	330
開発系子会社 (その他含む)	875	▲12	72.9%	1,200	879	1	73.3%	1,200	125	▲32	65.8%	190
グループ計	17,938	1,496	81.9%	21,900	14,277	▲997	68.3%	20,900	2,179	611	74.1%	2,940

(注記) 東洋建設の連結影響:受注高441億円、売上高537億円、売上総利益65億円[土木・建築・その他に含む] (販管費:のれん償却額21億円)  
 東洋建設ののれん残高: 3Q末588億円、2025年度期末885億円(予定:端数株式取得に伴う増加)、償却期間7年(均等償却)

### 主なグループ企業

土木	建築	開発・その他
■ 大成ロテック ■ 成和リニューアルワークス ■ ビーエス・コンストラクション ■ 東洋建設	■ 大成ユーレック ■ 大成建設ハウジング ■ ビーエス・コンストラクション           ■ 大成設備 ■ 佐藤秀 ■ 東洋建設	■ 大成有楽不動産 ■ TAISEI USA

© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

14

### 【グループ会社のセグメント別業績】

- 記載は連単差。
- 第3四半期は、土木系・建築系子会社全般が好調なことで、東洋建設の連結影響により、増収増益。
- 売上総利益の通期予想に対する進捗率は、単体同様に順調。
- 東洋建設の第3四半期への連結影響額は受注高441億円、売上高537億円、売上総利益65億円、販管費におけるのれんの償却額21億円。
- のれんの残高は第3四半期末に588億円、通期末に端数株式取得に伴う増加を含め885億円を予定。償却期間は7年。
- 12月に東洋建設の株式を100%取得し完全子会社となった。

## 5. バランスシート

有利子負債は前期末から+2,923億円増加し3,434億円のネットデット。  
 自己資本は、自己株式の取得等により、▲39億円減少し、自己資本比率33.0%。

バランスシート(BS)

(億円)

現金預金 3,007	有利子負債 3,155
政策保有株式 2,650	
	その他負債 12,126
その他資産 18,631	非支配 株主持分 345
	自己資本 8,662 (内、利益剰余金 6,492)
【総資産:24,288億円】 FY2024末	

現金預金 2,644	有利子負債 6,078
政策保有株式 2,958	
	その他負債 11,026
その他資産 20,525	非支配 株主持分 400
	自己資本 8,623 (内、利益剰余金 5,581)
【総資産:26,127億円】 FY2025.3Q末	

### 【バランスシートについて】

- 第3四半期末の連結総資産は、東洋建設の連結子会社化を主因に、前期末から+1,838億円増加し、2兆6,127億円。
- 有利子負債は前期末から+2,923億円増加し6,078億円、現金預金は▲363億円減少し2,644億円となったことから、3,434億円のネットデットとなった。
- 自己資本は、有価証券評価差額金の増加があったものの、自己株式の取得、および配当による利益剰余金の減少により、▲39億円減少の8,623億円となり、自己資本比率は33.0%となった。
- 東洋建設のBSは第2四半期より連結済み。



# 政策保有株式

政策保有株式の縮減状況について

© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

- 政策保有株式の縮減状況についての詳細。

## 政策保有株式の縮減状況について

- 縮減目標(2023年12月公表): **2026年度末**までに連結純資産額の**20%未満**を目指す

現状  
(2025年度3Q時点)

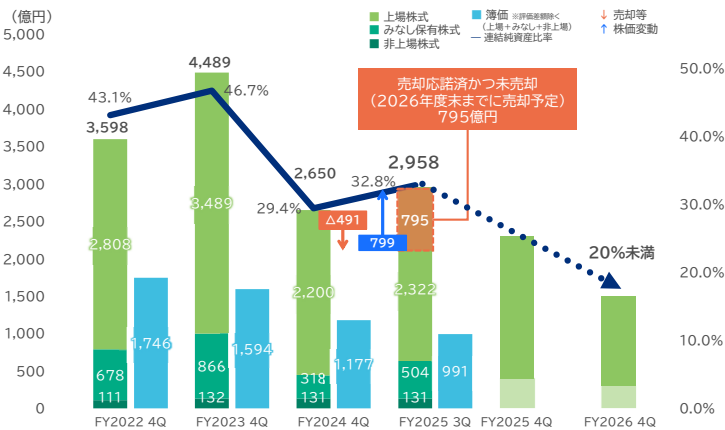
政策保有株式残高 2,958億円  
連結純資産比率 32.8%



今後の方針

縮減目標を確実に達成すべく  
適宜追加売却等を実施

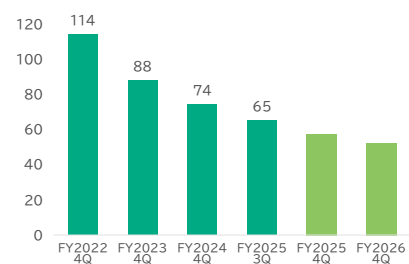
保有残高と連結純資産比率の推移



2025年度3Q時点 残高内訳

上場株式	2,322億円
みなし保有株式	504億円
非上場株式	131億円
合計	2,958億円

銘柄数の推移 ※上場+みなし



### 【政策保有株式の縮減状況について】

- 2025年12月末時点の政策保有株式の保有残高は2,958億円となり、連結純資産に占める割合は32.8%となった。
- 株価上昇の影響により残高は増加しているが、売却は順調に進捗。5年半の期間で114社から65社になった。
- 2027年3月末までに連結純資産の20%未満を目指すとした縮減計画の達成に向け、引き続き取り組みを進める。